



発行／秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916  
 ※「スポーツ少年秋田」は、ホームページでもご覧いただけます。(https://www.akitaijyo.or.jp)

## 第62回全国スポーツ少年大会

本県開催は42年ぶり3度目。全国38都道府県から181名の団員および指導者が参加し、「リスタートII 秋田で繋ぐべ 希望のタスキ」のスローガンの下、7月27日～30日の4日間、秋田県仙北市田沢湖で開催しました。

- 期 日 7月27日～7月30日
- 会 場 仙北市田沢湖スポーツセンター 他
- 宿 舎 亀の井ホテル田沢湖
- 参加者(秋田県)指導者:2名 リーダー:15名 団員:19名
- 概 要 3泊4日の集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動等に取り組みながら交流を深めた。県リーダー会が各種プログラムを立案、運営しリーダーとしての経験・活躍の場にもなった。

### 主なプログラム

歓迎アトラクション(なまはげ太鼓)、パラスポーツ、クニマス学習、秋リンピック、わらび座ソーラン踊り体験、野外フェスティバル、さよなら交流会

### リーダーの感想

#### 高橋 哲 哉 (秋田県リーダー会会長)

秋田県開催の全国スポーツ少年大会に参加できて本当に良かったと思います。私は全国スポーツ少年大会への参加は初めてで規模感や雰囲気がかめず大会の準備をする際はかなり大変でした。それでもリーダー同士での話し合いやリーダー会の先輩方や指導者さんからのアドバイス、スタッフの皆さんとの意見の出し合いなどを繰り返してたくさんの人の力を借りながら大会に臨むことができました。大会中は残念なことに天候に恵まれず予定していたプログラムを急遽変更せざるを得ない状態となってしまいましたが、それでも臨機応変な対応で大会を進めていくことができました。また今大会では秋リンピックや野外フェスという新たな試みにも挑戦して

これらの準備にもかなり苦勞しましたが、「参加者だけでなくリーダーも楽しむ」という精神で取り組むことができ、今大会に参加した人の心に残る素晴らしいプログラムにできたと思います。

今大会を通して大変なことも多く、正直当日まで不安な気持ちでいっぱいでしたが、活動の中で参加者が楽しんでいる様子を見ることができた上にリーダーでも楽しみながら活動することができました。さらにこの大会でたくさんの学びや交流を増やすことができたのでこの大会で得られたことをこれからの活動にうまく生かしていきたいと思っています。



最後に今大会を大成功させることができたのは全国大会に参加してくださった参加者の皆様、運営にかかわってくださったスタッフの皆様、そして大会成功のために一緒に協力してくださったリーダーの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。これからも秋田県リーダー会をよろしく願います。

#### 小松 原 幸 (秋田県リーダー会副会長)

秋田県で全国大会が行われる事を知って楽しみと同時に不安な気持ちがありました。どんな人達に会えるのか、みんなで何ができるかを考えるととても楽しみでしたが、副会長として自分に何ができるのか



考えた時に、私がリーダーとして活動したのは、昨年のジュニア・リーダーズスクールが初めてだったことを思い出しました。ジュニア・リーダーズスクールですら、自分たちの思い描いていた様に運営出来なかったのに、全国大会を運営できるのか、まとめていけるのか、全国から来た人達を最後まで楽しませられるのか不安が押し寄せました。そして、リーダーや指導者、本部と事前の話し合いを何度も重ねる中、お互いの意見がすれ違ったりみんなの思いがあるからこそぶつかり合うことも沢山ありました。そんな話し合いを重ねた上で、いよいよ全国大会が始まり、私は初めに司会を任せられました。普段人前で話すのは得意な私ですが、本番直前まで緊張して思い通りに出来るか不安になりました。そんな中背中を押してくれたのは、一緒に頑張ってきたリーダー達でした。「絶対に大丈夫、幸なら出来る。」その言葉に自信を持つ事ができ、最後まで司会を務める事が出来ました。その後のレクリエーションや班付きリーダー等様々な場面で大勢の人の前に立ち、スムーズに進めていくことが出来たと思います。また、



私は副会長として3泊4日参加している誰よりも一番楽しみ、笑顔でいることを目標にしました。リーダーが楽しむからこそ周りも楽しめると思い、最終日まで全力で楽しみながら笑顔で過ごす事ができました。最後には参加者や他県の指導者さんから最高に楽しかった、また秋田に来たいと言ってもらう事が出来て本当に嬉しかったです。自分達だけでは成功しなかった全国大会、周りの人達のサポートや素敵な仲間がいたからこそ素晴らしい大会になったと思います。全国大会を通して、人との関わりの楽しさや大切さを改めて実感することができました。これからも様々な活動をしていく中で、リーダー会をより良いものにしていきたいと思っています。

## 参加者の声

### = 団員 =

- 今回の大会を通して、たくさんの都道府県の人たちと仲良くなれたし、秋田県出身だけど秋田についてもっと知ることが出来てよかったです！
- 初めて「全国スポーツ少年大会」に参加しどんなのかと不安や心配がありました。参加してみても色々な学びがあり、楽しく活動出来ました。学校と錯覚してしまうほどのテキパキした時間割でした。
- 初めての全国スポーツ少年大会でちょっと不安だったけど友達も作れたし指導者や他県のリーダーとも仲良くなれました！楽しかったです。
- 仙北市の文化や仙北市に関わりのあることができて参加者全員が秋田の魅力を知れたと思いました。野外

フェスでも全員が参加しやすい空気がつくれていて僕自身も参加しやすくてのしかかったです。

- とても楽しく4日間を過ごすことが出来た。



- 秋田県について深く知りながら、他県の方との交流も出来たのでとても貴重な体験をさせていただき感謝いっぱいです。

### = 指導者 =

- 引率指導者として初めて参加させていただきました。自分にとってこの大会で経験したことすべてが新鮮で大変に有意義な時間を過ごすことができました。スポーツはトップアスリートとして大会で結果を出すことだけではなく、この大会のような活動を通して、スポーツに関わる多くの方たちと共に様々な課題に挑戦して行くことで得られることもとても重要であることがわかりました。今後もスポーツ少年団の理念を学びながら、スポーツの発展に少しでも貢献することができればと思います。

悪天候の中ご尽力くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。



- 天候に恵まれない中、臨機応変に運営してもらい、楽しく交流できた。連日の班長・指導者会議と朝の集いでの持ち物確認は必携用具としてプログラムに載せてあれば時間を要せずに済んだと思う。飲み物を配ったのは良かったが、前日に配られた方が良かった。



# 第51回日独スポーツ少年団同時交流 ドイツ派遣事業

- 期 日 7月31日～8月15日
- 受入先 バイエルン・スポーツユースII
- 参加者 指導者:古谷政信(大仙市)  
団員:佐々木風音(にかほ市)、齋藤和奏(にかほ市)  
石塚花咲(にかほ市)、飯尾月葉(にかほ市)  
佐藤蓮彰(大館市)  
(東北Iグループ 指導者1名、団員5名、計6名)

## 指導者の感想 古谷政信 (大曲レッドファイヤーズ サッカースポ少)

初めて参加した日独スポーツ少年団同時交流事業に、指導者として携わったことで大変貴重な経験を積み重ねることができたことを感謝しております。日本で多くの準備ミッションを経てドイツへ。実際ドイツに行ってもどれだけ活用できたと言うと、スケジュール遂行やトラブル対応などの管理面では役立ちました。簡単な日常会話レッスンや手引き程度では、表敬訪問の際の自己紹介と日常的なあいさつしかドイツ語で話すことができず、付け焼き刃的でほとんど役に立ちません。通訳さんを通して会話をするか、文明の利器「スマホの翻訳アプリ」を活用してするなど、他力で力量不足を補うことに。それも大いに経験でしたが、何よりも受け入れ側のドイツの方々是非常に親切で、我々外国人を自分の親戚の様にに対応してくれたことは非常に感謝しています。また機会があれば今回の反省を踏まえた対応で今回以上に楽しむ成果を上げることが期待できると思います。

## 日独同時交流に参加して

### 佐藤蓮彰 (SNOWスポ少)



私は、この日独同時交流研修を通じて、自分自身がとても大きく成長したと思いました。特に成長したことは、自ら英語やドイツ語を使いながら、コミュニケーションをとることができたことです。また、ジェスチャーや表情で相手に伝えようとすることができました。

ドイツの人も意外にも性格が内気の人もいたので、自分から話しかけることによって、ホームステイ先の家族と早く打ち解けて、本当の家族のように遠慮



なく活動することができました。たくさんの友人ができて自信ができました。

このように、今回の研修では多くの体験ができ、自分自身大きく成長できたと思います。次は私が指導者として、今回の交流で体験できたことを多くの人々に伝え、教えていきたいと思っています。

## たくさんの経験や学びがあったGermany

### 佐々木 風 音 (にかほ市リーダー会スポ少)

私は日独交流を通してたくさんのことを経験し、異文化に触れたたくさん学びがあったあつという間の2週間だと思いました。最初は、不安があり、心配でしたが日本団と会い交流していくうちに楽しみのほうが大きくなりました。ドイツ側とディスカッションをすることが一番不安でしたが、地方プログラムに行った際、ホームステイ先や他の人とも仲良



くなり良いディスカッションができたと思います。ドイツでは日本よりSDGsの対策が進んでいると

感じました。例えば、ファミリーデーで海に行った際、近くでフリーマーケットをしていました。そこには海で拾った貝殻や石などを加工してネックレスやブレスレットにしていて日本ではフリーマーケットでしているところはあまりないなと思いました。

スポーツでは会話は難しいですがジェスチャーやちょっとした英語でスポーツを通して交流できました。驚いたことは、行くところの近くには必ず教会があり建物が立派で驚きました。日本と違うところがいくつもあって面白かったし、また海外に行ってみたいと思いました。



### 齋藤 和奏 (にかほ市リーダー会スポ少)

私は去年、ドイツの方をホームステイ先として受け入れる側で日独同時交流に参加しましたが、今年



は実際にドイツへ行きました。行く前はどの様にコミュニケーションを取れば良いのか、初めての国で2週間も過ごせるのかと不安が沢山ありました。です

が、初日からとても楽しく、不安はすぐに消えました。ホームステイ先では家族全員が温かく迎え入れてくれました。一緒に映画を見たり、散歩をしたりして交流を深めること

が出来ました。こんなに仲良くなれると思っていなかったのです。また、SDGsの「質の高い教育をみんなに」という目標についてディスカッションを行いました。私たち日本団からそれぞれのスポーツチームで



どんな活動をしているのか、多くの人がスポーツに触れるためにどんな政策や行事が行われているのかを紹介しました。この題についてドイツ側からも意見をもらい、日本とドイツの文化の違いや教育の違いを知ることが出来ました。スポーツだけでなく、生活をしていく上で日本との違いを多く感じられました。このような経験を家族やチームのみんなに伝え、スポーツを通して国境を越えても交流を深められるということを沢山のの人に知ってもらいたいです。

### 石塚 花咲 (にかほ市リーダー会スポ少)

ドイツでの2週間の交流を終えて率直に感じたことは、「スポーツの力ってすごいな」ということです。私は英語もドイツ語もほとんど話せません。そのため、ホーム



ステイ先では言葉の壁が大きく、話についていけず面白い話も聞き逃してしまうということが何度もありました。ですが、

スポーツは言葉など関係ありませんでした。ホストファミリーや現地の子どもたちと一緒にスポーツをした時、同じタイミングで喜び合ったり、悔しがったり、笑い合ったりできて、スポーツは世界共通の言語だと感じました。今後は職場やチームの後輩たちにもスポーツの凄さを伝えていけたらいいと思います。そして、ドイツで出会った最高の仲間たちとまた会える日を楽しみにしています。



### 飯尾 月葉 (にかほ市リーダー会スポ少)

今回の日独同時交流ではとても貴重な体験をすることが出来ました。1



つ目はドイツの文化や土地です。乾燥しており、平地が広がるドイツでは小麦畑や動物を飼育する草原が広がっていました。その小麦でできた黒いパンは日本では食べない味で、とても美味しかったです。初めて食べたドイツ本場のソーセージは、食べ方が分からず英語を駆使して店員さんに教えて貰いました。また何より、ホストファミリーを含めドイツの方と交流出来たことが最も貴重な体験だったと思います。年齢の差をもちもせず、互いに文化や言語を聞きあったり、スポーツやショッピングなどを楽しんだりすることで仲を深めることが出来ました。ドイツで得た経験や友人は生涯の宝物になると確信しています。

今回の日独同時交流ではとても貴重な体験をすることが出来ました。1つ目はドイツの文化や土地です。乾燥しており、平地が広がるドイツでは小麦畑や動物を飼育する草原が広がっていました。その小麦でできた黒いパンは日本では食べない味で、とても美味しかったです。初めて食べたドイツ本場のソーセージは、食べ方が分からず英語を駆使して店員さんに教えて貰いました。また何より、ホストファミリーを含めドイツの方と交流出来たことが最も貴重な体験だったと思います。年齢の差をもちもせず、互いに文化や言語を聞きあったり、スポーツやショッピングなどを楽しんだりすることで仲を深めることが出来ました。ドイツで得た経験や友人は生涯の宝物になると確信しています。



# 第47回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

夏期は3種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



## ● サッカー

6月1日～2日・6月8日(西目カントリーパーク他)

- 参加数 45団、720名
- 優勝 ブラウブリッツ秋田U-12スポーツ少年団



## ● 柔道

9月8日(秋田県立武道館柔道場)

- 参加数 17団、175名
- 優勝  
【小学生】男子:小友スポーツ少年団  
女子:御野場石川道場スポーツ少年団  
【中学生】男子:羽城柔道スポーツ少年団  
女子:羽城柔道スポーツ少年団



## ● 軟式野球

8月8日～12日(さきがけ八橋球場)

- 参加数 16団、352名
- 優勝 湯沢東野球スポーツ少年団

## 東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

### ○ 第46回全国軟式野球交流大会東北Iブロック代表決定大会

- ・ 日時 令和6年7月6日
- ・ 会場 鹿角市城山野球場
- ・ 参加団 花館ドッカーズスポーツ少年団、花輪野球スポーツ少年団

### ○ 第52回東北地区サッカースポーツ少年団交流大会 兼第44回東北ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会

- ・ 日時 令和6年7月14日～15日
- ・ 会場 山形県総合運動公園サッカー場
- ・ 参加団 ブラウブリッツ秋田U-12スポーツ少年団、スポルティフ秋田スポーツ少年団

# 私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

八森MBBCスポーツ少年団(八峰町)ミニバスケットボール10名(小2~小6) 八森町民体育館 奈良 麻子  
八峰町立八森小学校 6年 千葉みいな

八森MBBCスポーツ少年団は、2年生から6年生までの10人で団活動をしています。私たちのチームの良いところは、チームワークと走り負けない体力があることです。団員は学年関係なく、みんな仲が良く、いつも全県大会出場を目標にみんなで声を出し合って楽しく練習しています。また、バスケットボールはたくさん走るスポーツなので、他のチームに負けなくらい走り込みをがんばっています。

いつもわかりやすく指導してくださる監督やコーチ、いつも応援やサポートをしてくれる家族に感謝しながら、目標に向かってこれからも練習を頑張っていきたいです。



大仙南アレイズスポーツ少年団(大仙市)野球22名(小2~小6) 角間川小学校 今野 和典  
大仙市立南外小学校 6年 佐々木真玄

大仙南アレイズは、2022年に2つの団体が合同して出来た団です。

学校や学年はバラバラですが、みんな仲が良く野球が大好きで、女子団員も活躍しています。

ぼくたちは、基本練習を大切にして、つなぐ力を意識して練習に励んでいます。

試合をするたびに、他校の団員との絆も深まり、他の団にも友達が増えてとても楽しいです。

この団を作ってくれた先輩方や、関わってくれたたくさんの人達の想いを胸に、感謝の気持ちを忘れずこれからも大好きなみんなと大好きな野球を続けていきたいです。



勝平女子バスケットスポーツ少年団(秋田市)ミニバスケットボール20名(小2~小6) 勝平小学校 金 清祐  
秋田市立勝平小学校 6年 小林 優月

とても穏やかで、時には厳しくもある監督と、温かい励ましの声をかけてくれるコーチのもと、日々の練習を『ガリっと』頑張ってます。仲の良さは県内1。と言っても過言ではありません！学年問わず仲が良く、いつもどこかで笑い声が生まれています。(メリハリ大事)仲の良さだけでなく、大会でも県内1番、東北1番、全国を目指して、監督、コーチ、団員、親も『女バス一丸』となって頑張っています。これからも熱心に指導して下さる監督、コーチ、いつも温かくサポートしてくれる保護者のみなさんに感謝しながら、良い結果をだせるように頑張っていきたいです。



## オフィス環境のトータル・サポーター



株式会社 **アシスト**

● 〒010-0063 秋田市牛島西一丁目5番1号  
● TEL: 018-884-7600 FAX: 018-836-6088  
● E-mail: info@assist-one.co.jp

- オフィス通販『アスクール』正規取扱店
- 防災・災害用品資機材
- 事務用品・事務用機器・OA機器・オフィス家具
- OAフロア、可動間仕切、造作家具
- オフィスデザイン・プランニング設計
- インテリア製品及び内装工事設計施工

# 夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

## エンジョイベースボール!

五城目野球スポーツ少年団

指導者 渡邊 雄大

五城目野球スポーツ少年団は、五城目小学校、井川義務教育学校の団員13人で五城目町を拠点に活動しています。少人数ではありますが和気あいあいと元気に野球を楽しんでいます。当団は、技術指導だけでなく挨拶、返事、礼儀といった将来大人になったとき子供達が苦労しないよう人間育成にも力を入れ、日々指導をしています。

人口減少、野球離れ、といった影響をもろに受け、3年生から試合に出さざるをえない状況で、野球の「や」の字もわからない子供達が多く、新体制から公式戦、練習試合と大差で負ける日が続きました。しかし、負けても這い上がり、子供達同士でどうしたら強くなるかを話し合ってきました。その結果、マクドナルド杯予選を見事に勝利し、3年連続で全県大会へ出場することができました。

野球離れが進んでいますが、野球が好きで真剣に取り組んでいる子供達もいます。指導者として、そういった子供達のために野球をする環境を整え野球を楽しんでもらいたいです。



## 子どもたちの未来のために

小坂町スポーツ少年団

親の会 工藤 渉

当団は、小坂小学校と十和田小学校の合同チーム「十和田レイクスターズ」として結成3年目を迎えました。今年度は5年生5人、4年生5人、3年生1人、2年生2人の13人の団員で活動しています。6年生不在で試合に出場できる5年生、4年生にとってはこの時期に経験できることも多く、来年度を見据えて技術とチーム向上に励んでいます。

練習では同じ失敗を何度も繰り返し、コーチに叱咤激励されることもあります。失敗を繰り返した先に「できない→できた」がまっています。無数の失敗をすることで子どもたちは学んでいくのだと感じています。練習試合等で大差をつけられながらも最後まであきらめず、気持ちの込められたプレイを見ると勝敗に関係なく応援する側も胸が熱くなります。

私の理想としては上手くなることだけが「すべて」ではなく、観てくれている方々が楽しいと感じてくれるチームでありたいです。大切なのは子どもたちがバスケットボールを通してより多くの体験、経験をすることだと思っています。未来ある子どもたちのために今後も全力で支えていきます。



## 目ざせ世界の頂点!



がんばる  
ジュニア  
応援します



あらゆるニーズにお応えする

**松原印刷社**

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29

TEL 018-862-8760(代)

FAX 018-863-0005

http://www.matsubarainsatsu.co.jp

E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

# 日本スポーツ少年団顕彰・秋田県スポーツ少年団表彰

日本スポーツ少年団より功績のあった市町村スポーツ少年団と登録指導に贈られる賞で、令和5年度は、市町村スポーツ少年団1団と登録指導者5名に伝達された。また、秋田県スポーツ少年団では、功労者11名、優秀指導者3名優秀単位団7団体、優秀母集団2団体を表彰した。

- 期 日 4月24日(水)
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

## 令和5年度日本スポーツ少年団顕彰

◎市町村スポーツ少年団  
にかほ市スポーツ少年団

◎指導者

豊島 春己(秋田市) 藤原 正三(秋田市)  
野村 佐月(能代市) 高橋 芳徳(鹿角市)  
佐藤 兼雄(潟上市)



## 令和5年度秋田県スポーツ少年団表彰

◎功労者

鈴木 浩彦(秋田市) 大石 正人(秋田市)  
佐藤 信明(秋田市) 船越 俊幸(能代市)  
安宅 誠(能代市) 木村 智明(由利本荘市)  
高田恵美子(大仙市) 佐藤 亨(鹿角市)  
安田 貴志(潟上市) 齋藤 徹(にかほ市)  
鎌田 鐵也(大潟村)

◎優秀指導者

三浦 直志(秋田市) 双木 信彦(秋田市)  
柏谷 勝信(秋田市)

◎優秀単位団

牛島女子バスケットボールスポーツ少年団(秋田市)  
旭南野球スポーツ少年団(秋田市)  
金足西野球スポーツ少年団(秋田市)  
豊岩野球スポーツ少年団(秋田市)  
能代バドミントンスポーツ少年団(能代市)  
仙北バレーボールスポーツ少年団(大仙市)  
にかほ市リーダー会スポーツ少年団(にかほ市)

◎優秀母集団

土崎スポーツ少年団育成会(秋田市)  
仙北バレーボールスポーツ少年団(大仙市)



最後まで、驚くほど軽く引ける

テーブルの新基準 独自機構「エアータッチシステム」搭載

- エアータッチシステム
- 新開発 パワーネット テープ
- 静音設計
- エアーフットヘッド

エアータッチ  
**PIT AIR**

テーブルのり ビットエア- 400円+消費税

AIR touch

オリジナルギフトや  
記念品に!

【テープのり】ビットエア-



別注・お名入れ対応も可能です。

お見積り・ご注文は、お近くの文具取扱店様へお問合せをお願いします。

インクジェット  
印刷対応

小ロットに  
最適

株式会社トンボ鉛筆  
https://www.tombow.com

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。